

玖珠町立くす若草小中学校 (旧:玖珠町立学びの多様化学校)

～令和6年6月26日(水)訪問～ 【玖珠町】



令和6年4月に開校した玖珠町立くす若草小中学校(旧:玖珠町立学びの多様化学校)は、公立校としては九州・沖縄で初となる、不登校の小中学生を受け入れる小中一貫の義務教育学校で、「みんなが主役の学校」というコンセプトの下、それぞれの個性をいかした教育が行われています。

授業風景を見学させていただきましたが、様々な学年の児童生徒が、同じ教室で仲良く楽しそうに学んでいる姿が大変印象的でした。

懇談では、玖珠町における不登校児童生徒の現状や開校に至るまでの経緯をお聞きしました。また、開校後に多くの見学や問合せがあり、ニーズの多さを感じる一方で入学希望者の住居から学校までが遠いといった地理的要因や、学校スペースの問題等で入校がかなわなかった事例があることも伺いました。

さらに、家庭の不和や経済的困窮等を理由に不登校に結びつく事例もあることから、福祉と教育の連携強化へのご要望もいただきました。

そのほか、教職員の配置状況やオンライン授業の活用などについて意見交換を行うとともに、県内各地への学びの多様化学校設置促進についてのご提案をいただきました。

多様な学びの環境を整える必要性について改めて認識できたことに感謝を申し上げますとともに、ロールモデルとして、さらなる情報発信に努めていただきたいとお伝えしました。

懇談風景



関連分野における県の施策(令和7年度)

☆事業名: いじめ・不登校等対策事業

事業概要: いじめや不登校等を未然に防止するとともに、早期解決や長期的支援を行うため、教育相談体制を強化するほか、ICT等を活用した取組を実施する。

予算額: 1億1,514万円

☆事業名: スクールカウンセラー活用事業

事業概要: 児童生徒や保護者の悩み等に対応するため、専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置

予算額: 2億4,896万円

☆事業名: スクールソーシャルワーカー活用事業

事業概要: 貧困など家庭環境に起因する不登校等の未然防止、解決のため、スクールソーシャルワーカーを配置

予算額: 1億1,538万円(内訳: 国1/5、県2/5、市町村2/5)